

提出 順番	No. 9	平成 25 年 5 月 30 日 (午前) 午後 11 時 45 分受領
----------	----------	---

平成 25 年 5 月 30 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 谷 口 和 弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>「幕別町地域新エネルギービジョン」の達成状況と自然エネルギーの利用拡大について</p>	<p>東日本大震災と福島原発事故の発生から約2年3か月が経過しました。福島原発事故は、原発がもともと過酷事故を起こす危険性をはらんでおり、いったん事故を起こせばコントロールする手段がないことを浮き彫りにしました。事故発生からわずか9か月で「収束」宣言が出されましたが、「収束」に程遠い現状にあるのは、いまだに約15万人の福島県民がふるさとにもどれず、県内外で避難所生活を強いられていることから明らかです。</p> <p>さらに今年5月23日には茨城県東海村の大強度陽子加速器実験施設で放射性物質を放出させ、施設の内外を汚染する事故が発生、あらためて放射性物質を管理することの困難さを示しました。危険な原発を一刻も早くゼロにし、再生可能エネルギーの開発などに本腰を入れて取り組むことこそ、福島原発事故などの教訓を生かす道だと考えます。</p> <p>幕別町では、2003年にエネルギー資源の有効活用について「幕別町地域省エネルギービジョン」を策定し、省エネに関する施策を開始しました。2006年にはエネルギー利用の面からまちづくりの方向性を検討し、自然の力や今まで使わずにいた資源を利用した新エネルギー導入の指針となる「幕別町地域新エネルギービジョン」を策定しました。2015年度までに二酸化炭素排出量を年間3900t削減することを目標にし、目標達成に向けた4つの重点施策を掲げ、町民や事業者にも新エネルギー施設の導入を進めています。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<p>①「幕別町地域新エネルギービジョン」は、現在中期目標の展開期間となっています（2010年～2014年）。中期の重点施策である、「新エネルギー教育の推進」、「新エネルギー情報の提供等による啓発」、「公共施設における新エネルギーの率先導入」の達成状況を伺います。</p> <p>②幕別町では今年度予算で、「住宅用太陽光発電システム導入」補助件数を70件と拡大しています。現在までの予約申し込み状況や今後の予約見込みについて伺います。「ペレットストーブ」についても伺います。</p> <p>③新エネルギー導入の促進にあたって、「太陽光発電」「ペレットストーブ」以外にも補助や貸付制度を設けるべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>④幕別町内にも複数のメガソーラーの建設が進んでいます。それらの稼働状況や幕別町の経済効果などを伺います。</p> <p>⑤十勝管内の自治体の中には独自にバイオマス活用推進計画を策定するなど、バイオマス資源の活用推進が積極性を増しています。また小水力発電に対する検討・調査も始まっています。幕別町における新たな自然エネルギー導入の可能性や検討状況を伺います。それにもとまって「幕別町地域新エネルギービジョン」の見直しも開始すべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>⑥自然エネルギーの調査・研究・活用拡大をすることにより、企業誘致や雇用拡大などの経済効果をあげていくことが求められます。幕別町にそれらの任務を担う「自然エネルギー担当部署」を設置すべきと考えますが、町の考えを伺います。</p>